

シンガポールで地下鉄火災！ - 西日本防災システム

2013 02 13

シンガポール ストレーツ・タイムズによりますと、シンガポール中心の地下鉄ニュートン駅近くのトンネル内で2月13日午前9時頃、送電ケーブルから出火しましたが、火は約1時間後に消し止められたようです。発生時は通勤時間帯で混雑していましたが、けが人などはなかったようです。駅構内には煙が充満し、消防車や救急車が出動しました。同駅などを通る路線が交通規制のため不通となったようです。シンガポールでは、日本人約2万6千人が生活しているそうです。MRT(地下鉄・高架鉄道)運営会社SMRTの職員が消火に当たり一度は消火できましたが、再発火しシンガポール民間防衛隊(SCDF)が消し止めたそうです。

SMRTの予備調査によりますと、電線の絶縁に問題があったようで、ヒエンシアン副社長によりますと、雨がトンネル内に染み込み絶縁不良に至った可能性があるとのこと。

ホームには火災による煙が充満したようです。駅には手動の換気装置がありますが、運転されたか、効果があったかは不明のようです。

ニュートン駅近くのトンネルでは2004年5月にも、軌道の底板を支えるゴム剤が発火したことがあるそうです。SMRTは今後数日をかけ、すべての送電線を調べるそうです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top page